

講義名称	流通論	担当教員名	駒田 純久
科目群	社会科学 (SOC)		
科目区分等	経営 CA7 DI5	単 位	2
対象学年次	1年・秋学期	ナンバリング	SOC144

授業のキーワード	流通（卸売業・小売業）、情報通信技術、まちづくり
授業の概要	情報通信技術の発達によって急激な変化が起こっている流通分野に注目します。通信販売などの小売業態の興亡、消費者のライフスタイルの変化、まちづくりと流通構造の関係について学習します。
期待される学習成果（目標）	1. 小売業態の特色とそのビジネスの仕組みについて理解できます。 2. ICTの発達とその影響について理解できます。 3. 業種研究で行う店舗視察レポートを作成できるようになります。

授業展開		
回	テーマ	内 容
1	オリエンテーション	授業の進め方と予定、評価方法について説明します。
2	流通の歴史と役割	流通の歴史とその役割（機能）について学習します。
3	百貨店（デパート）	最初の近代小売業態である百貨店とそのビジネスモデルについて学びます。
4	スーパーマーケット	消費の大衆化を実現したスーパーマーケットの成り立ちについて説明します。
5	総合スーパー（GMS）	高度成長期に急成長した総合スーパーのビジネスについて学習します。
6	コンビニエンスストア	日本発イノベーションとして認められる「コンビニ」について説明します。
7	ドラッグストア・ホームセンター	急成長するドラッグストアとHCの成り立ちについて学びます。
8	ここまでの復習と中間テスト	小売業態の展開を業態発展論という視点から振り返ります。
9	総合ディスカウントストア	ドン・キホーテや100均を取り上げ、その経営戦略について学習します。
10	家電量販店	群馬県の売上No.1企業ヤマダ電機の成長の軌跡を辿ります。
11	衣料専門店	ユニクロなどアパレル流通について理解を深めます。
12	ショッピングセンター	計画された商業集積・SCについて理解を深めます。
13	商店街・まちづくり	地域社会の流通を担ってきた市街地の商店街の盛衰・まちづくり政策について学びます。
14	ネット通販	楽天やアマゾンのビジネスモデルと今後の展開について学習します。
15	DX	流通業と物流におけるデジタル化の動向について学習します。

定期試験	記述式の期末テストを行います。
授業時間外学習	・個々の流通企業の戦略について情報収集します（1.5時間）。 ・流通企業の経営戦略について分析します（1.5時間）。
評価方法	中間・期末テスト（60%）、ワークシート・レポートと授業への貢献（40%）で評価します。
使用する教科書（必ず購入してください）	必要なときにプリントを配布します。
参考文献	廣田誠・山田雄久他著『日本商業史』有斐閣。 石川和男『商学入門』中央経済社。